



皆さん、こんにちは。周りの景色が春らしくなってきましたね。雪に埋まっていた公園にも芝生が見え始めました。桜の季節が楽しみです。

3月は、冬の終わりであり、学年の終わりであり、卒業の季節でもあります。

考えるとびっくりするのですが、私は5年前に阿賀野市に来ましたので、当時の小学5年生は4月から高校生に、小学2年生は中学生になります。ワオ！大勢の子どもたちの成長をただ見てただけでなく、私とその成長に関わってきたことを光栄に思います。

ちなみにアメリカと日本の学年構造が違うことご存じでしたか？アメリカの小学校は日本でいう幼稚園の年長さんから小学5年生までの6年間、中学校は6年生から8年生の3年間、高校は4年間です。小学校の一番下の学年はKindergarten といい、実は義務教育ではありません。義務教育は6歳から16歳までです。ちなみに高校は学年によって呼び名が変わります。(Freshman→Sophomore→Junior→Senior)

日本とアメリカの卒業文化はずいぶん違います。

アメリカでは小学校にも中学校にも卒業式や卒業証書がないことがほとんどです。私の推論では、2つの理由が考えられます。

まず、アメリカの義務教育は16歳までなので、高校には必ず入学しなければなりません。

次に、日本と違って、ほぼ全員が自宅と最も近い小・中・高校に行きます。

例えば、私の出身地のミシガン州のプレインウェル市の子どもは、小学校は3つに分かれますが、全員が同じ中学校と高校に進みます。小学校から中学校へ進む時は少しメンバーが替わりますが、中学校から高校へ進む時は、友達と別れ別れになったり、遠くに行ったり、学校生活が大きく変わったりはしません。「卒業」の実感はほとんどないです。



高校と大学は卒業式と卒業証書があります。

高校の卒業式を紹介します。アメリカでは6月に行います。雨が降らない限り高校のフットボールスタジアムで開催するのが普通です。学校のオーケストラが「威風堂々」を演奏する中、卒業生はフィールドに集まり、家族は観客席から式を観ます。校長先生が「よく頑張りました」等のお決まりの挨拶した後、卒業生が投票で選んだ先生と卒業生の代表がスピーチをし、

卒業証書が授与されます。証書授与が終わったら、ドラマで見たことがあるかも知れませんが、卒業生全員が四角い帽子を

空に向けて一斉に投げます。

懐かしいですね、卒業式。皆さん、同級生のことを覚えていますか？まだまだ会ったりしていますか？今はソーシャルメディア (SNS) が普及しており、昔の友達とつながりやすくなっています。私も SNS を使って同級生の友達グループとよく話します。出身地どころか母国からも離れた者としては、特にそういう面で SNS の存在がありがたいです。

では、また今度。

—ジェフ

塾のコンビニ！英語塾 阿賀野市教育委員会 学校教育課
Tel 0250-62-2790 e-mail gakkokyoiku@city.agano.niigata.jp

